

平成26年度

事務の点検及び評価報告書

平成27年8月

神石高原町教育委員会

目 次

はじめに	1
I 教育委員会の点検と評価制度の概要	2～3
1 点検と評価の趣旨	2
2 対象年度	2
3 点検と評価の対象事業	2
4 点検と評価の方法	2～3
II 教育委員会の活動状況及び活動概要	4～8
1 教育委員会の活動状況	4～6
2 教育委員会活動の概要	7～12
III 点検評価の結果	13～24
1 確かな学力の向上	13
2 豊かな心や健やかな体の育成	14
3 信頼に応える学校づくり	15
4 教育環境の整備	16
5 中高一貫教育	17
6 食育の推進	18
7 学習機会の提供及び学習環境づくり	19
8 図書館の充実及び図書情報の発信	20
9 人権尊重への意識高揚，推進体制の充実	21
10 体育協会並びにスポーツ少年団への支援	22
11 質の高い芸術並びに文化の提供	23
12 文化財の保存及び継承	24
IV 外部評価委員の意見	25～27
1 教育委員会の活動	25
2 点検評価票	26
3 総合評価	27

資料1 平成26年度神石高原町教育委員会 経営計画

資料2 平成26年度神石高原町教育委員会 自己評価表

は じ め に

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」(昭和31年法律第162号(以下「地教行法」という。))第26条では、「教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。」と規定されています。

神石高原町教育委員会では、この地教行法の規定に基づき、今後の効果的な教育行政の推進を図るとともに、町民の皆様への説明責任を果たすため、「教育委員会の自己点検並びに評価」を実施し、教育に関する学識経験を有する者の意見を付した報告書としてまとめました。

教育委員会では、今回の自己点検並びに評価の結果について、町民の皆様に公表するとともに、皆様のご意見を次年度以降の事業の立案に反映することにより、教育行政の更なる推進に努めてまいりたいと考えておりますので、町民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年8月

神石高原町教育委員会

I 教育委員会の点検と評価制度の概要

1 点検と評価の趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検と評価を行い、その結果に関する報告書を作成して議会に報告するとともに、公表することが義務付けられています。

この報告書は、同法の規定に基づき神石高原町教育委員会が行った点検と評価の結果をまとめたものです。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 対象年度

平成26年度

3 点検と評価の対象事業

点検と評価の対象は、神石高原町長期総合計画(平成19年度～平成28年度)の基本計画に位置付けられている、①学力の定着と向上、②教育の環境づくり、③生涯学習の推進、④豊かな歴史と文化の育成及び振興の4施策に関し、平成26年度教育行政方針において、主要な施策として位置付けて実施した12事業について点検と評価を実施しました。

4 点検と評価の方法

点検と評価にあたっては、評価指標等を設定し、次項の表のとおり4段階の評価としました。

区 分	内 容
A	目標は、十分達成された。
B	目標は、達成された。
C	目標は、十分に達成できなかった。
D	目標は、全く達成できなかった。

なお、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条第2項の規定による「教育に関し学識経験を有する知見の活用」に関しては、広い観点から知見を期して、学校教育、社会教育分野での教育や人材育成に携わった経験をもち識見の高い、元小学校長の 東 一史 氏からご意見とご助言をいただきました。

Ⅱ 教育委員会の活動状況及び活動概要

1 教育委員会の活動状況

(1) 教育委員会委員

職名	氏名	性別	備考
委員長	山本剛久	男	元教育関係者
委員長職務代理者	中岡康典	男	自営業
委員	田邊孝章	男	自営業
委員	藤原和則	男	元団体職員・保護者
教育長	佐竹秀朗 馬屋原健治	男	元行政関係者(~H26.12.22) 元教育関係者(H26.12.23~)

(2) 教育委員会会議の開催状況

定例会 12回 臨時会 2回

(3) 教育委員会会議での審議状況

議決の状況

議案番号	議案名	議決日
27	神石高原町立学校評議員の委嘱について	26.4.18
28	神石高原町立学校関係者評価委員の委嘱について	〃
29	豊松学校給食共同調理場及び三和給食共同調理場運営委員会委員の任命について	26.5.30
30	平成26年度要保護及び準要保護児童・生徒の認定について	〃
31	平成27年度に小・中学校で使用する教科用図書の採択基本方針について	〃
32	神石郡教科用図書採択地区の採択事務に関する規約について	〃

33	神石高原町私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部を改正する要綱について	〃
34	神石高原町立学校職員服務規程の一部を改正する規程について	〃
35	神石高原町立学校職員の自家用車の公務使用に関する取扱要領の一部を改正する規程について	〃
36	神石高原町いじめ防止基本方針（案）について	26.6.24
37	平成26年度要保護及び準要保護児童・生徒の認定について	26.7.15
38	神石高原町学校図書館司書設置基準について	〃
39	平成27年度から使用する小学校教科用図書の採択について	26.8.5
40	平成27年度特別支援学級において使用する教科用図書の採択について	〃
41	平成25年度神石高原町教育委員会事務の点検及び評価について	26.8.27
42	神石高原町いじめ問題調査委員会設置条例の制定について	〃
43	就学指導委員会への諮問について	26.10.17
44	（取り下げ）	〃
45	平成26年度要保護及び準要保護児童・生徒の認定について	〃
46	平成26年度要保護及び準要保護児童・生徒の認定取消しについて	〃
47	神石高原町教育委員会教育長の任命について	26.12.23
48	神石高原町教育委員会委員長職務代理者の指定について	〃
49	神石高原町記念物の指定について	26.12.22
50	平成26年度要保護及び準要保護児童・生徒の認定について	〃

1	平成27年度特別支援学級において使用する教科用図書の採択について	27.1.28
2	辞職願（馬屋原教育長）の受理について	27.2.24
3	（取り下げ）	〃
4	神石高原町教育委員会教育長の給与、勤務時間その他勤務条件に関する条例の一部を改正する条例について	〃
5	神石高原町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	〃
6	神石高原町就学援助費支給要綱の一部改正について	〃
7	神石高原町特別支援教育就学奨励費支給要綱の一部改正について	〃
8	平成27年度神石高原町教育行政方針について	〃
9	神石高原町教育委員会会議規則の一部を改正する規則について	27.3.26
10	神石高原町教育委員会公告式規則の一部を改正する規則について	〃
11	神石高原町教育委員会傍聴規則の一部を改正する規則について	〃
12	神石高原町教育委員会公印規程の一部を改正する規程について	〃
13	平成27年度中学校の特別支援学級で使用する教科用図書の採択について	〃
14	神石高原町文化財保護委員会への諮問について	〃
15	辞職願（小林三和公民館長）の受理について	〃
16	神石高原町公民館長の任命について	〃

2 教育委員会活動の概要

(1) 各種会議への出席

会 議 名	出席者	開催日	場 所
広島県市町教育長会総会	教育長	26.4.14	広島市
平成26年度第1回東部教育事務所管内教育長会議	教育長	26.4.24	尾道市
広島県町教育長会総会及び広島県市町教育長会議	教育長	26.5.16	広島市
広島県教育長会情報交換会	教育長	26.5.16	広島市
平成26年度広島県市町教育委員会連合会定期総会	委員長	26.5.20	広島市
平成26年度全国町村教育長会定期総会・研修会	教育長	26.5.22~23	東京都
府中税務署管内租税協議会総会	委員長	26.5.27	府中市
平成26年度広島県公立学校施設整備期成会総会	教育長	26.7.31	広島市
平成26年度中国5県町村教育長研究大会(鳥取大会)	教育長	26.8.21~22	鳥取市
地方教育行政功労者表彰式	教育長	26.10.21	東京都
「ひろしまの日」フォーラム	教育長	26.11.1	世羅町
平成26年度広島県市町教育委員会教育委員研修会	教育委員	26.11.13	広島市
平成26年度広島県町教育長会研修会	教育長	26.11.14	海田町
租税教育推進校等表彰式	教育長	26.11.18	府中市
平成26年度第2回東部教育事務所管内教育長会議	教育長	26.11.21	尾道市
第6回ふくやま子ども「生きる」美術展表彰式	教育長	27.1.11	福山市

平成26年度第2回広島県市町教育長会議	教育長	27.1.22	広島市
油木高等学校学習発表会	教育長	27.2.18	油木山村
平成26年度教育長セミナー	教育長	27.2.21~22	茨城県
福山若草園新築移転開園記念式典	教育長	27.3.27	福山市

(2) 議案以外の報告・協議状況

開催日	定例会における報告・協議内容
26.4.18	平成26年度就学児童・生徒について
〃	平成25年度町内中学校進学先の状況について
〃	いじめ防止対策推進法の対応について
〃	給食共同調理場の運営について
〃	緊急連絡体制について
〃	来見小学校進入路の拡張について
〃	神石高原町文化財指定基準の決定について
〃	神石高原中学校落成式の予定について
〃	教育長の任期について
26.5.30	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律案の概要について
〃	「いじめ防止対策推進法」施行に係る対応方針について
26.6.24	議会現地調査状況について

〃	平成26年度6月定例議会の状況について 一般質問, 議案, 補正など (関係分)
〃	来見小学校入口交差点の改良調整状況について
〃	来見小学校の存続について
〃	統合中進入交差点付近の改良工事執行状況について
〃	旧中学校跡地利用について
〃	学校の現状と当面の課題について
26.7.15	神石高原町学校図書館司書設置基準 (案) について
〃	県教育長ミーティングの状況について
26.8.5	油木高校の活性化・魅力化策について
〃	平成26年度成人式について
26.8.27	9月補正について
〃	平成25年度決算について
〃	教育委員会制度について
26.9.26	9月定例議会の報告について
〃	第3回魅力化プロジェクト委員会の報告について
〃	町内学校訪問の日程調整について
26.10.17	町内学校訪問状況について
〃	魅力化に向けた事例報告について

〃	いじめ問題調査委員会設置要綱について
〃	文化財の指定について
26.11.28	就学指導委員会からの答申について
〃	文化財保護委員会からの答申について
〃	油木高校活性化・魅力化プロジェクト委員会からの中間答申について
〃	12月補正について
26.12.22	神石高原町教育委員会委員の任命について
〃	油木高校活性化・魅力化プロジェクト委員会中間答申について
〃	区域外就学の承諾について
27.1.28	平成27年度卒業式・平成27年度入学式の日程並びに担当校の割当について
〃	平成27年度油木高校サテライン受講者状況について
〃	中高一貫教育アンケート調査結果（学習塾関係）について
〃	100万人行動宣言への取組み依頼について
〃	スクールバスを利用した油木高校PR作戦について
〃	平成27年度教育行政方針の概要について
〃	平成27年度当初予算要求の概要について
27.2.24	今後の県立高等学校の在り方に係る基本計画について
〃	平成27年度版連携型中高一貫教育に係るアンケート調査結果と考察について

〃	学習支援塾（仮称：はやぶさ塾）の運営について
〃	平成27年度当初予算の概要について
〃	平成27年度小中学校卒業式出席委員の割り当て並びに告辞内容について
〃	平成27年度学校給食の構想について
27.3.26	神石高原町英語検定料補助金交付要綱の一部改正について
〃	神石高原町特別支援教育支援員措置要領の一部改正について
〃	就学指導委員会の答申について
〃	広島県立油木高等学校の活性化策・魅力策について
〃	平成27年度学校教育の重点について
〃	災害用備品可搬式リチウムイオン蓄電池パワーイレの寄贈について
〃	スクールバス（2コース）のラッピングについて
〃	はやぶさ塾の概要について
〃	平成27年度教育委員会事務局職員の人事異動について
〃	平成27年度小中学校教職員の人事異動について
〃	平成27年度神石高原町立学校医の委嘱について

(3) 教育委員の学校訪問

訪問日	訪 問 先	内 容
26.10.14	神石小・神石高原中・ 油木小	・授業参観 ・学校教育内容など
26.10.15	来見小・三和小・三和中・ 豊松小	・学校施設及び学校運営等条件整備 について

Ⅲ 点検評価の結果

平成26年度 点検評価票

中期経営目標	個に応じたきめ細かな指導
短期経営目標	確かな学力の向上

1 短期経営目標(具体)

主に、次のことに取り組み、学力向上を図る。

- ①広島県「基礎・基本」定着状況調査の結果分析
- ②授業力向上の研修
- ③外国語活動を中学校へスムーズに接続
- ④読書習慣の定着
- ⑤複式学級対応の非常勤講師を配置

2 取組・方策

- ①各学校における結果分析及び町教育委員会による分析結果の提供
 - ・各学校ごとに課題となる問題の分析及び改善のスケジュールの計画樹立。
 - ・町教育委員会において、小中学校別にデータ分析し各学校に情報を提供。
- ②課題分析・指導方法改善の研究協議
 - ・各校の課題とそれに対する指導方法改善の状況について、進捗状況及び成果と課題を協議し、更なる指導方法の改善を図った。
 - ・中学校区で課題を共有し、指導方法改善に向けて研究協議を行った。
- ③授業力の向上研修
 - ・東京大学 市川教授、文科省国立教育施策研究所 樺山調査官を招聘し、授業力の向上研修を行った。
- ④中学校外国語科スタートカリキュラム・CAN-DOリストの改善
 - ・目標を明確にし、生徒の実態に合わせた指導を展開、改善を図る。
- ⑤各学校において、児童会や生徒会活動、学校だより等により本の紹介・家庭での読書の呼びかけを実施。
- ⑥複式授業対応非常勤講師の配置
 - ・豊松小学校、神石小学校の複式学級に、年間420時間以内で配置し、主に理科・社会及び算数・国語等の単式授業として展開。

3 評価

評価指標	広島県「基礎・基本」定着状況調査
実績値(平成25年度)	小国69.9(-0.2), 小算70.0(+0.2), 小理63.3(+2.0), 中国75.2(+3.5), 中数69.9(+0.9), 中理40.2(+0.3), 中英66.3(-5.8)
目標値(平成26年度)	県平均値を上回る
総合評価	B

平成26年度広島県「基礎・基本」定着状況調査の結果

学年	国語	算数/数学	理科	英語
小学校5年生	77.1(5.3)	88.0(10.0)	74.9(4.3)	—
中学校2年生	79.1(5.4)	71.8(1.6)	60.0(5.0)	66.5(-1.7)

※()内は、広島県平均との差

<考察> 中学校英語科を除いて、県平均を上回っている。中学校英語科においても、県平均との差は小さくなってきており、取組に対して一定の成果が見られる。

4 改善策

- ①調査対象学年のみでなく、全学年での基礎基本の定着
- ②全教職員間での課題の共有及び小中学校間での課題の共有
- ③教師の授業力向上研修の充実
- ④中学校における読書習慣定着に向けた取り組みの充実

平成26年度 点検評価票

中期経営目標	生徒指導等の充実
短期経営目標	豊かな心や健やかな体の育成

1 短期経営目標(具体)

「不登校」への対応として「不登校を未然に防止する取組」と「不登校児童生徒の学校復帰をめざした指導と支援」の二つの視点で取り組む。
 また、「いじめ」に対しては、受けている児童生徒の立場に立って指導し、「いじめは絶対に許さない」という毅然とした態度で指導することにより、不登校児童生徒及び「いじめ」を減少させる。
 健やかな体を育成するため、日常から体を動かす習慣をつける。

2 取組・方策

- (1) 神石高原町生徒指導主事研修会の開催(1回)
各小中学校の生徒指導主事を対象に、生徒指導方針を共通理解することにより、生徒指導体制を強化した。
- (2) 児童生徒の欠席状況調査(毎日)
児童生徒の欠席状況を把握し、欠席日数が多い児童生徒に対して、早期対応として担任と生徒指導主事による家庭訪問を実施することにより、未然のうちに不登校対策に努めた。
- (3) 問題行動の実態把握と指導
月末に集約し、実態把握と必要な指導や学校訪問を行った。
- (4) スクールカウンセラーの活用
- (5) 各学校の体力づくり計画に基づいて取組

3 評価

評価指標	不登校				いじめ(1,000人あたりの認知件数)			
	神石高原町		県平均		神石高原町		県平均	
	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校
実績値(平成25年度)	1.35%	1.84%	0.42%	2.54%	5.4件	9.2件	3.5件	5.8件
目標値(平成26年度)	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.0件	0.0件	0.0件	0.0件
実績値(平成26年度)	0.28%	2.91%	0.47%	2.56%	8.4件	0.0件	3.2件	5.5件
全国体力テスト								
平成26年度実績値 (体力合計点による) ※目標: 県平均以上		町	県平均	全国平均	小中学校とも男子は県及び全国の平均を下回っている。 また、小中学校の女子は、県及び全国の平均値を上回っている。			
	小男	54.0	56.0	55.6				
	小女	59.4	57.2	56.3				
	中男	42.8	43.6	44.2				
	中女	52.8	50.5	50.3				
総合評価	B							

4 改善策

- (1) 教職員間の意識統一
- (2) 学期末毎のアンケート等により児童生徒の実態把握を行い、不登校傾向児童生徒、いじめへの早期対応のための指導を強化する。
- (3) スクールカウンセラーの活用や子育て支援ネットワーク会議との連携強化を図る。
- (4) 関係機関との連携(児童福祉、保健、県等)
- (5) 定期的な学校訪問
- (6) 日常的に体力増進に努める学校生活づくりの検討、実践
- (7) 業間体育の推進

平成26年度 点検評価表

中期経営目標	情報の公開及び学校評価・自己評価の推進
短期経営目標	信頼に応える学校づくり ・情報発信及び学校評議員、学校関係者評価委員の意見を学校経営に活かす

1 短期経営目標(具体)

- ①学校評価の充実
学校評議員、学校関係者評価委員会の充実
- ②情報発信
学校だより及び学校HP(ホームページ)による情報発信
- ③教職員の不祥事防止
町不祥事防止対策協議会の取組の充実

2 取組・方策

- ①学校評価の充実
学校評議員や学校関係者評価委員への来校依頼、学校関係者評価委員会の定期的開催及び意見の学校経営への反映。
- ②情報発信
学校だよりの配布・配信の徹底、学校HPの定期的な更新等により、学校の様子が地域保護者にわかるようにする取組。
- ③教職員の不祥事防止
各校に設置している不祥事防止委員会の機能化及び研修の充実等の取組を、町不祥事防止対策協議会において検証・意識調査分析等を行った。

3 評価

評価指標	①学校評議員・学校関係者評価委員への積極的な来校依頼 ②学校HPを年間5回以上更新した割合 ③不祥事の生起件数
実績値(平成26年度)	①学校評議員、学校関係者評価委員への積極的な来校依頼 100% ②学校HPを年間5回以上更新した 100% ③不祥事案の発生件数 3件(交通事故・加害 ※懲戒処分無し)
目標値(平成26年度)	①100% ②100% ③0件
総合評価	B

平成26年度実績
 ①学校評議員、学校関係者評価委員への積極的な来校依頼 100%
 ②学校HPを年間5回以上更新した 100%
 ③不祥事の生起件数 3件
 <考察>
 ①各種行事、参観日等に積極的に来校依頼している。
 ②校区内全戸配布や回覧板形式で、学校の様子は広く情報提供されている。
 ③交通事故が年間3件生起しており、教職員の意識向上が急務である。

4 改善策

- ①町不祥事防止対策協議会の充実
サービス規律に係る研修の充実と教職員の意識向上。
- ②各校のホームページの充実
定期的な更新及びその内容について点検・指導の充実。
- ③身近な学校づくり
学校評議員・学校関係者評価委員の活動状況の検証を行い、より一層、学校と地域の連携を図る。

平成26年度 点検評価票

中期経営目標	耐震対策及び学校再編計画
短期経営目標	教育環境の整備

1 短期経営目標(具体)

- ・耐震対策について、学校校舎は小中学校とも100%完了したことから、今後は非構造部材の耐震化を推進する。本年度は、神石小学校体育館の天井板撤去、来見小学校進入路改良等を実施する。
- ・統合中学校建設について、一部、事故繰越となった工事を実施し、早期の完了を図る。

2 取組・方策

整備内容

- ・神石小学校体育館の吊り天井238.5㎡について、落下防止を図るため、軽量材に改修。(事業費9,577千円)
- ・来見小学校進入路交差点部道路の拡幅及び付帯工事(事業費3,532千円)
- ・一部、事故繰越となった校舎・寄宿舎及び外構工事を実施。

3 評価

評価指標	耐震補強工事の実施済棟数割合	統合中学校建設
実績値(平成25年度)	学校校舎については、100%完了	事業費ベースで約90%完了 (一部工事について事故繰越)
実績値(平成26年度)	非構造部材の耐震化を順次実施 (本年度は神石小学校体育館天井改修)	事故繰越となった一部工事を実施、完了した。
総合評価	B	
<ul style="list-style-type: none"> ・学校校舎の耐震対策については、平成25年度で完了した。 ・平成26年度以降、非構造部材の耐震化を推進する。 ・3中学校の統合により、新たに「神石高原中学校」を開校し、本町は、2中学校、5小学校の体制となった。 		

4 改善策

- ・非構造部材の耐震化を順次実施する。平成27年度中に調査を行う。
- ・学校の適正配置、教育環境が整えられたことから、教育の中身づくりをさらに充実していく。

平成26年度 点検評価票

中期経営目標	食育の推進
短期経営目標	食育の推進

1 短期経営目標(具体)

- ・近年、児童生徒の食生活をめぐる環境は大きく変化し、栄養の偏りや不規則な食事による肥満や生活習慣病の増加など、食に起因する問題は様々であり、問題解決のために食育を推進する必要がある。
- ・食に関する専門性を持った栄養教諭を中心とし、児童生徒が「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を営むことができるよう、食育の充実を図る。

2 取組・方策

- ・食育の年間計画に基づき、栄養教諭を中心に食育の授業に取り組む。
- ・地場産品食材を多く使用した給食を提供するため、また、旬の食材の活用を図るため、栄養教諭・学校栄養職員や関係機関と連携し、給食に使用する食材の掘り起しや献立検討を行い、学期に1度「神石高原ランチ」を提供する(食育地産地消推進事業)。

3 評価

評価指標	①栄養教諭の指導時間数				
実績値(平成25年度) 県目標値:100時間以上	4月～10月まで:127時間		11月～ 3月まで:59時間		計:196時間
実績値(平成26年度) 県目標値:100時間以上	4月～10月まで:130時間		11月～ 3月まで:81時間		計:211時間
※広島県「食に関する実態調査」による(2回/年)					
評価指標	②地場産品の使用割合				
実績値(平成25年度) 県目標値:30%以上		使用 食品数	地場産品 使用食品数	地場産品の 割合(%)	(参考)町内産品 使用食品数
	6月	291	72	24.7	30
	11月	338	109	32.2	71
実績値(平成26年度) 県目標値:30%以上		使用 食品数	地場産品 使用食品数	地場産品の 割合(%)	
	6月	328	95	29.0	
	11月	304	100	32.9	
※「学校給食における地場産物の活用状況調査」による(2回/年) 月～金(第3週)までの5日間 調査対象:栄養教諭・学校栄養職員配置校及び共同調理場					
総合評価	B				

4 改善策

- ・栄養教諭未配置校への活用を広げていく。
- ・地場産品食材を積極的に取り入れるための体制づくりや、関係機関と連携を図る。

平成26年度 点検評価票

中期経営目標	公民館・図書館を拠点とした生涯学習施設の充実
短期経営目標	学習機会の提供及び学習環境づくり

1 短期経営目標(具体)

今日的課題や地域課題など個々に応じた学習機会の提供や情報発信に努める。

2 取組・方策

生涯学習講座「J-OX」の開催や成人式開催、放課後子ども教室事業、公民館活動事業を推進した。手芸、料理、IT関係の各種講座を開催し、知的で心豊かな生活、活力ある社会の実現をめざした。また、平和学習への取り組みの拠点としての役目も果たしている。

3 評価

評価指標	成人式参加率	放課後子ども教室	公民館活動事業	生涯学習講座「J-OX」
実績値(平成25年度)	70名/110名	10,451 延人	39講座	4講座
目標値(平成26年度)	80名/100名	11,000 延人	37講座	4講座
実績値(平成26年度)	78名/100名	11,385 延人	37講座	3講座
総合評価	A	A	A	A

・多種多様な教室・講座を開催することにより、幅広い年齢層への情報を発信し、生涯をとおして学べる学習機会の提供を図るとともに、さらに効率的な運営が出来つつある。
 ・住民のニーズを反映した運営方法により、公民館の地域性が表れ始めている。

4 改善策

・社会情勢の変化により生涯学習と学校教育との連携も強く求められる状況になっている。そのことを考慮し、公民館活動についても、時機を逃すことなく、現代的課題についての学習機会を提供、奨励していかなければならない。
 ・受講生が固定化する傾向にある講座については、自発的な活動に移行するよう働きかけが必要な時期にきている。

平成26年度 点検評価票

中期経営目標	公民館・図書館を拠点とした生涯学習施設の充実
短期経営目標	図書館の充実及び図書情報の発信

1 短期経営目標(具体)

読書を通じた「教養のまちづくり」を推進する。

2 取組・方策

「ブックスタート事業」や読書感想文コンクールなどの読書習慣定着に向けた取り組みを行うとともに、図書館情報システムを活用した図書館利用の促進を図る。このほか、読書に親しんでもらえるように、「絵本のおはなし会」、「おはなしコンサート」の開催や図書館だよりの発行を行う。

3 評価

評価指標	読書感想文コンクール	図書館貸出状況	図書館だよりの発行	おはなしコンサート
実績値(平成25年度)	527点	36,636冊	12回	9会場
目標値(平成26年度)	500点	36,000冊	12回	9会場
実績値(平成26年度)	468点	32,693冊	12回	9会場
総合評価	A	B	A	A

・展示コーナーの工夫や図書館情報システムの活用で、利用者の増加を図っている。
 ・「絵本のお話会」等読書に親しんでもらうための行事を継続して行う事で、「教養のまちづくり」に取り組んでいる。
 ・自館にない本については、他団体との相互貸借を活用したり、順次購入し要望に応じている。

4 改善策

・読書感想文コンクールは7年間継続し、4年前からは「黒い雨」の部も設けた。応募者数は少し減少傾向にあるが、戦後70周年の節目として、平成27年度は一般の部も設けて、広く募集を行うこととした。
 ・図書館においては、図書システムの更改に合わせて町内の学校図書との連携が取れるシステムの整備を順次進めていく。

平成26年度 点検評価票

中期経営目標	人権を尊重する社会づくり
短期経営目標	人権尊重への意識高揚, 推進体制の充実

1 短期経営目標(具体)

人権尊重の精神に徹し, あらゆる差別をなくす意欲と実践力を持った住民の育成をはかり, 明るく住みよい町づくりを推進する。

2 取組・方策

町, 町教育委員会, 社会教育委員, 人権擁護委員, 自治振興連絡協議会等で人権学習推進実行委員会を組織しており, 公民館を中心に自治振興会単位での学習を推進する。

3 評価

評価指標	人権学習会			
実績値(平成25年度)	32団体/1,057名			
目標値(平成26年度)	34団体/1,227名			
実績値(平成26年度)	34団体/1,174名			
総合評価	B			

自治振興会を通じて学習会を行い, すべての自治振興会で実施された。今年度も, 他の行事と併せて開催する等, 参加を地域全体に広く呼び掛けて行われている。

4 改善策

交付金として自治振興会へ世帯割と均等割(共通経費)の方法で交付しているが, 実施内容は, DVDの視聴と意見交換が大半を占めている。実施内容, 実施方法等検討を要する。

平成26年度 点検評価票

中期経営目標	スポーツの振興
短期経営目標	体育協会並びにスポーツ少年団への支援

1 短期経営目標(具体)

スポーツの推進と普及活動

2 取組・方策

スポーツ推進委員会を中心に、幅広い年代で取り組めるニュースポーツの取り組みに力を入れることで、生涯スポーツの推進を行っている。
地域スポーツの中心を担う体育協会や、スポーツ少年団については、運営費の助成を行い支援する。

3 評価

評価指標	ニュースポーツ講習会	トップアスリート教室	体力検定	
実績値(平成25年度)	1回	4回	2回	
目標値(平成26年度)	7回	2回	1回	
実績値(平成26年度)	7回	1回	0回	
総合評価	A	C	C	

社会教育行政計画の一つである一般向けのニュースポーツの普及は年間を通して行うことが出来たが、児童・生徒を対象に行う社会体育の普及事業が行えなかった。

4 改善策

- ・スポーツ推進委員の活動を広く町民へ周知し、委員本来の職務である、地域でのスポーツ推進活動に積極的に取り組む必要がある。
- ・スポーツ推進委員の後継者の育成を具体的に考えていく時期に来ている。
- ・学校教育との連携を図り、子どもの体力の向上に係ることで、地域の体力向上の底上げを行う。

平成26年度 点検評価票

中期経営目標	文化財の継承・保存
短期経営目標	質の高い芸術並びに文化の提供

1 短期経営目標(具体)

質の高い芸術・文化の体験, 鑑賞ができる機会の提供を行う。

2 取組・方策

町文化連盟の活動支援を行うとともに, 質の高い芸術・文化の体験, 鑑賞ができる機会の提供や, 文化・芸能の拠点としての施設の管理運営を行う。

3 評価

評価指標	町文化連盟	巡回演奏会		
実績値(平成25年度)	88団体/898名	小学校5校・中学校2校		
目標値(平成26年度)	88団体/900名	小学校5校・中学校2校		
実績値(平成26年度)	85団体/876名	小学校5校・中学校2校		
総合評価	A	A		

・文化連盟に対しては, 補助金の交付など側面的な支援を行う事で自主的な運営を行っている。
 ・巡回演奏会では, 質の高い芸術に触れる機会の提供を行い, 音楽教育や情操教育の役目をはたしている。

4 改善策

・町文化連盟が行う総合文化祭や神石郡美術展の周知を図り, より多くの町民が, 文化・芸術の鑑賞ができる場の提供を行う。
 ・会員の高齢化により運営上の問題が生じてきている。自主的な運営を任せるためには, 備品の整備等実施環境の整備が必要となる。

平成26年度 点検評価票

中期経営目標	文化財の継承・保存
短期経営目標	文化財の保存及び継承

1 短期経営目標(具体)

文化財が町の歴史、文化等の理解、将来の発展のために欠くことのできないものであることを認識し、それらを保存、活用する。

2 取組・方策

町指定文化財、古文書を含む歴史的文書等の保存、活用等について協議、検討するとともに、予算の範囲内での補助・助成を行う。
民俗資料館の運営及び文化財の発掘調査を行う。

3 評価

評価指標	町指定文化財	古記録保管庫の目録の作成		
実績値(平成25年度)	77	39 千円		
目標値(平成26年度)	80	1,350 千円		
実績値(平成26年度)	77	1,350 千円		
総合評価	B	A		

・平成26年度より、古記録の整備に関する職員を配置することにより、歴史的資料の位置づけが明確になることで、文化財としての価値が高まっている。

4 改善策

・指定文化財等の所有者・保持者の高齢化、後継世代の育成の課題等もあり、従前の管理、継承が困難な状況になりつつある。
・既存の文化財の確認を行うとともに、地域の共有財産としての扱い方を検討しなければならない。

外部評価委員の意見

今日、教育とりわけ児童・生徒を巡り、命に関わる社会問題は非常に深刻なものがあります。中でも一部家庭の教育機能の低下と、児童生徒の体験不足や社会性の未熟さから現れる諸問題は全国津々浦々に顕在化しており、その傾向は本町といえども例外ではありません。

教育行政は、一見穏やかに感じられる日々の教育活動の中を注意深く見つめ、しかも“貴方が大事だよ”というメッセージが醸し出されるように運営されることが大事になってくると思います。

教育基本法においても「他と協調しながら、その生涯を切り拓いていく力」が一層求められています。

そうした中で、教育委員会の任務は学校教育・社会教育からスポーツ・文化活動の振興など多方面・広範囲にわたっています。

一方、予算面では国段階から教育予算の抑制・効率運営を求められ、今日の問題への独自の新たな対策を打ち出すことが大変厳しいという事情があります。

教育委員会制度は地味ではありますが、国民の知的水準を高め社会発展の基盤づくりとして大きな役割を果たしてきましたし、これからも果たしていくことを、あらためてこの点検評価が示し、さらに広い視野のもと、限られた財政の中から優先有効な施策が導き出される根拠となっていくものであることを願うものです。

1. 教育委員会の活動

本町の教育委員会会議は、定例化され必要に応じて臨時会が開かれているなど、論議が尽くされての施策執行が行われており、十分にその機能を果たしていると認められます。

町教育委員会においては、小・中学校教育への学校訪問や授業参観などを通じて児童生徒の実態に触れられ、学校現場のありのままの様子を適切に把握されています。また、重要な学力について着実な向上が見て取れ、保護者・地域住民の信頼を得ていると言えます。

教育施設設備については、計画的に着実に整備できていると思われ、安全安心の学校づくりが、付属する環境整備とともに着実な進展を見せています。

授業や学校教育活動は、なんと言っても児童生徒のモチベーション「やる気」と先生の資質「やる気」です。学校長の学校運営方針を把握して、必要な人材を配置できるよう配慮することが重要だと考えます。

命を守るという観点から、食の教育と心の教育も、すぐに成果の出るものではありませんが、欠かすことができないものであり、関係者の規範意識や倫理観の昂揚が望まれます。

芸術・文化の振興、生涯スポーツの推進についても着実に実績が上がっていると思います。

2. 点検評価票

点検評価票については、「平成26年度教育行政方針」を基に、前年度の主要な事業ごとの取り組みを評価して改善策を明らかにし、執行した結果が分かりやすく的確に示されています。

- ・学校教育では、新教育課程の実施に伴う教材教具の整備が着実に行われ、安全安心の施設整備が計画的に進んでいます。
- ・神石高原中学校の開校基盤づくりも、細かな配慮の中で成功しています。
- ・確かな学力の向上・健やかな体の育成という点では、年々向上が見られ関係者の努力と苦勞が報われてきていると思われれます。
- ・社会教育では、公民館を拠点に地域の教育力を取り込むなど、子どもたちの地域行事への参加や学習活動が着実に積み上げられており、また町民の芸術文化に触れる機会の工夫がなされており、今後とも維持継続することが町民から期待されています。今後とも必要に応じて地域住民の協力も求めるなどの工夫が活力の元となっていくのではないのでしょうか。
- ・図書館事業では、シルトピア図書館を拠点に「教養のまちづくり」に貢献する成果を上げている事がよく分かり、引き続き地道な積み上げを望みます。
- ・スポーツの振興では、青少年の大会参加成績にめざましいものがあり、また町民の幅広い年齢層のスポーツレクリエーション普及に貢献しています。
- ・文化財の継承・保存では、将来に向けて誇りうる歴史の継承・保存にむけての活動にたゆまぬ努力・支援が必要です。そうした中、今年度の古文書整理に人的配置が出来たことは、大きな成果につながる基盤づくりになっていくと思われれます。

3. 総合評価

今回、教育委員会事業12項目にわたり点検・評価を実施しましたが、良好な成果が達成されているものと評価しました。

教育行政は、その時代のニーズに即応しなければなりません。本質は人を育てるという崇高な使命があります。当地で子育てをしたいと思える教育環境づくりを、少し長い目で見守る優しいまなざしとして持つておくことも必要な見識と考えます。

町教育委員会におかれましては、この点検評価に満足することなく、時代の要請・地域の意見・教員関係職員の意見に耳を傾けて頂き、よりすばらしい教育委員会になるよう念願し、これまでの関係者の熱意と努力に敬意と感謝を申し上げ、総合評価とします。

平成27年8月17日

外部評価者 東 一史

平成 26 年度神石高原町教育委員会 経営計画

I ミッション

「神石高原町長期総合計画」における施策「自然と歴史を活かした教育・文化のまちづくり」の推進とともに、平成 26 年度教育行政方針に基づく教育行政を推進する。

II ビジョン

【町民像】

- 学校教育では、神石高原町の将来を担う子ども一人ひとりが、「知・徳・体」の調和の取れた「生きる力」を身につける。
- 生涯学習では、子どもから大人まで町民一人ひとりが、自らの個性や能力を最大限に発揮し夢や希望・生き甲斐を持つ。

【教育委員会像】

- コンプライアンス（法令と倫理の遵守）に基づく公教育を推進する。
- PDCAのマネジメントサイクルによる業務遂行を目指す。
- 報告・連絡・相談などによる組織的な対応を目指す。
- すばやい対応を目指す。

III 現状分析

【学校教育】

- 各校における授業改善の取組が、一定の成果を挙げている。各種学力調査の平均通過率も、ほぼ県平均並みである。しかし、活用問題では小学校・中学校とも課題がある。
- 地域を題材とする道徳教材を活用した道徳の時間等を通して地域への関心や郷土愛を育み、体験学習では、町内小学校 5 年生全員による 3 泊 4 日の合宿体験を通して規範意識や自立心、連帯感の醸成を図っている。
- 学校からの情報発信として、保護者・地域への学校便りやホームページへの掲載、公開授業の積極的な開催に努めている。
- 校舎等の耐震化は平成 25 年度で 100%完了したが、児童生徒の安全確保のため、引き続き、体育館の吊り天井等、非構造部材の耐震化を図る。

【生涯学習】

- 住民への学習の場の提供は行われているが、幅広い年代層の参加に工夫が必要。
- 図書等貸出利用者数が近年、横ばい状態である。
- 人権学習は各自治振興会等で 100%の実施率である。
- 生涯スポーツは、各種教室・大会を開催しているが、参加する住民が限られている傾向がある。
- 文化財の保存伝承については、目録の作成及び整理が急務である。

平成26年度神石高原町教育委員会 自己評価表

中期経営目標 (長期総合計画)	短期経営目標 (平成26年度教育行政方針)	評価項目	評価指標	実績値()は、広島県平均との差		目標値		評価 (自己評価の結果)	改善策
				H25	H26	H26	H27		
学力の定着及び向上	<ul style="list-style-type: none"> ○豊かな学力の向上 ・言語活動の充実 ・情報教育の充実 ・外国語活動を中学へ接続 ・読書活動の充実 ・特別支援教育の充実 ・環境教育 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種学力調査を行い、結果を分析し、授業改善に活かして児童生徒がわかる授業を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広島県「基礎・基本」定着状況調査 	小園 69.9(+0.2) 小算 70.0(+0.2) 小理 63.8(+2.0) 中国 75.2(+3.6) 中数 69.9(+0.9) 中理 40.2(+0.3) 中英 66.3(+5.8)	小園 77.1(+5.3) 小算 88.0(+10.0) 小理 74.9(+4.3) 中国 79.1(+5.4) 中数 71.8(+1.6) 中理 60.0(+5.0) 中英 66.5(+1.7)	前年度数値を上回る	前年度数値を上回る	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校英語科を除き、いずれも県平均を上回っている。 ・中学校英語科においても、県平均との差は小さくなっており、一定の成果が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調査対象学年のみでなく、全学年での基礎基本の定着 ・全教職員間での課題の共有及び小中学校間での課題の共有 ・教師の授業力向上のための研修
体験活動等の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○豊かな心や健やかな体の育成 ・道徳教育の充実 ・いじめ、不登校の未然防止 ・宿泊体験活動の充実 ・スポーツテストの向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・「不登校を未然に防止する取組と「学校復帰をめざした指導と支援」の視点で取り組む。 ・「いじめは絶対に許さない」という毅然とした態度で指導する。 ・全国体力テストの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校・いじめの認知件数 	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校 小1.4% 中1.8% ・いじめ(1000人当たりの認知件数) 小6.4件 中8.2件 	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校 小0.3% 中1.7% ・いじめ(1000人当たりの認知件数) 小8.4件 中0.0件 	認知件数ゼロ	認知件数ゼロ	<ul style="list-style-type: none"> ・担任や生徒指導主事による継続的な家庭訪問を実施した。 ・特に中学校においてはいじめを許さない継続的な取組が功を奏している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員間の意識統一 ・児童生徒の笑顔把握と早期対応 ・スクールカウンセラー等との連携強化 ・関係機関との連携 ・定期的な学校訪問 ・日常的に体を動かす取組が必要 ・業間体育の推進
教育環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○情報に応える学校づくり ・情報発信及び学校評議員、学校評価委員会の意見を学校経営に活かす 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の情報発信者地域へ発信し、保護者・地域の意見を収集し、学校経営に活かす。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 委員への来校依頼 ② 学校ホームページの5回以上更新 ③ 不祥事発生件数 	<ul style="list-style-type: none"> ① 100% ② 100% ③ 0件 	<ul style="list-style-type: none"> ① 100% ② 100% ③ 3件 (懲戒処分無し)	<ul style="list-style-type: none"> ① 100% ② 100% ③ 0件 	<ul style="list-style-type: none"> ① 100% ② 100% ③ 0件 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種行事や参観日等に積極的に来校依頼している。 ・各校のホームページの定期的な更新 ③身近な学校づくり ・学校評議員・学校関係者評価委員の活動状況の検証を行い、学校と地域の一層の連携を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ①町不祥事防止対策協議会の充実 ・服務規律に係る研修の充実 ②各校のホームページの定期的な更新 ③身近な学校づくり ・学校評議員・学校関係者評価委員の活動状況の検証を行い、学校と地域の一層の連携を図る。
耐震対策及び学校再編計画	<ul style="list-style-type: none"> ○教育環境の整備 ・学校校舎、体育館の耐震工事 ○学校再配置 ・学校統合の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの学ぶ意欲を高め、学校生活に夢と誇りを与え、たくましく生きる力を育む教育活動を支えるために、安全で快適な教育環境整備を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震補強等工事の実施 ・耐震診断 	<ul style="list-style-type: none"> 学校校舎耐震化 小100% 中100% 	H25年度完了	非構造部材の耐震化の推進	非構造部材の耐震化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度で学校の耐震化は完了した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・非構造部材の耐震化等の実施

	<p>○中高一貫教育 ・連携型中高一貫教育の推進</p>	<p>・平成26年度に木町教育へ導入予定している「連携型中高一貫教育」の制度化に向け、「推進協議会」や「支援会議」との連携と中高の交流事業の充実、体系化を図る。</p>	<p>・各関係者の満足度 ・油木高校への町内入学率</p>	<p>79.7% ③ 66.7%</p>	<p>80.3% ④ 65.1%</p>	<p>① 70%以上 ② 75%以上</p>	<p>①教育効果を上げる異校づくり ・中高の学校現場の連携意識向上 ②町内からの入学率の向上 ・高校進路説明会の工夫 ・部活動での活用 ・油木高校越えアップづくり支援策の継続検討 ・啓発活動の充実</p>
<p>食育の推進 通学対策 家庭教育力の向上</p>	<p>○食育の推進</p>	<p>・食育の授業を通じて、望ましい食習慣や食に関する正しい知識と食を選択する力を身につけさせる。</p>	<p>・栄養教諭の指導時間数 100時間以上</p>	<p>198時間</p>	<p>211時間</p>	<p>前年度数値を上回る</p>	<p>・栄養教諭未配置校への活用を広げていく。 ・地場産品食材を積極的に取り入れるための体制づくり ・関係機関との連携 ・地場産品の使用割合調査の頻度(学期ごとを実施)</p>
<p>生涯学習の推進</p>	<p>公民館・図書館を拠点とした生涯学習施設の充実</p>	<p>○生涯学習・社会教育の振興 ・学習機会の提供及び学習環境づくり ・図書館の充実及び図書館情報の発信</p>	<p>各行事の参加人数</p>	<p>成人式 78.0% ・放課後子ども教室 11,385延人 ・公民館活動事業 37講座 ・J-OX 3講座</p>	<p>成人式 70.0% ・放課後子ども教室 10,451延人 ・公民館活動事業 39講座 ・J-OX 4講座</p>	<p>多様な情報提供を行い、小学生から高齢者までの幅広い年代層の参加を図る。</p>	<p>・社会情勢の変化により、生涯学習と学校教育の連携も強く求められる状態になっている。このことを考慮し、公民館活動についても時期を逃すことなく、現代的課題について学習機会を提供・奨励していかねばならない。 ・受講生が固定化する傾向にある講座については、自発的な活動に移行するよう働きかけが必要な時期に来ている。</p>
<p>生涯学習</p>		<p>・読書を通じた「教養のまちづくり」を推進し、「ブックスタート事業」や読書感想文コンクールなどの読書学習機会を定着に向けた取り組み、気軽に本を親しめる「ブック・クローニング」の充実など、読書に親しめる環境づくりに努める。</p>	<p>応募点数、貸出冊数、発行回数、実施数</p>	<p>読書感想文コンクール 468点</p>	<p>読書感想文コンクール 527点</p>	<p>書く力を身に着けるため、図書館等において、書き方教室等の開催。</p>	<p>・読書感想文コンクールは7年間継続し、4年前からは「黒い雨」の冊を認めている。応募者は減少傾向にあるが、後70年の節目として、平成27年度は「緑の部」も設けて広く募集することとした。 ・図書館においては、図書システムの更改に併せて町内の学校図書との連携を順次進めて行く。</p>
<p>生涯学習</p>			<p>図書貸出状況</p>	<p>32,693冊</p>	<p>32,993冊</p>	<p>町民のニーズを反映した運営が図られる。</p>	<p>・図書貸出状況は前年度に比して減少した。 ・図書館だよりの発行やおはなしコンサートの実施は目標どおりの実施が出来た。 ・展示コーナーの工夫や図書館情報システムの活用で、利用者の増を図った。</p>
<p>生涯学習</p>			<p>図書貸出状況</p>	<p>32,693冊</p>	<p>32,993冊</p>	<p>町民のニーズを反映した運営が図られる。</p>	<p>・図書貸出状況は前年度に比して減少した。 ・図書館だよりの発行やおはなしコンサートの実施は目標どおりの実施が出来た。 ・展示コーナーの工夫や図書館情報システムの活用で、利用者の増を図った。</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・文化財の継承・保存 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財の保存及び継承 	<ul style="list-style-type: none"> ・古文書等の目録を作成し、少しづつではあるが保存施設を整備している。今後、分類整理を行ない保存管理に努める。 ・町内外の個人所有に係る文化財についても、調査・収集・保管に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・古文書等の分類整理・保存管理 ・発掘調査の実施状況 	<ul style="list-style-type: none"> ・古記録保管庫の目録の作成 39千円 	<ul style="list-style-type: none"> ・古記録保管庫の目録の作成 1,850千円 	<ul style="list-style-type: none"> 古記録保管庫内の目録の作成及び整理を行いながら、各支所が所有する行政文書の収集を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 古記録保管庫内の目録の作成及び整理を行いながら、各支所が所有する行政文書の収集を行う。 	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> 古記録の整備により歴史的資料の位置づけが明確となることで、文化財としての価値が高まっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 指定文化財等の所有者や保持者の高齢化、後継世代の育成の課題等もあり、従前の管理、継承が困難な状況になりつつある。 既存の文化財の確認を行うとともに、地域の共有財産としての扱い方を検討する。
--	---	--	---	--	---	---	---	----------	--	---



